



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月4日

上場会社名 株式会社 あみやき亭
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐藤 啓介
 (氏名) 千々和 康

上場取引所 東 名

TEL 0568-32-8800

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	16,127	△3.9	992	△42.0	1,076	△38.3	464	△52.7
23年3月期第3四半期	16,777	—	1,712	—	1,744	—	980	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 464百万円 (△52.6%) 23年3月期第3四半期 979百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	6,777.61	—
23年3月期第3四半期	14,321.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	14,083	11,624	82.5	169,733.14
23年3月期	14,530	11,365	78.2	165,946.08

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,624百万円 23年3月期 11,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00
24年3月期	—	1,500.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	3,000.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,773	△2.6	1,209	△44.8	1,319	△41.1	587	△45.2	8,570.84

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	68,488 株	23年3月期	68,488 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	68,488 株	23年3月期3Q	68,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他の関連に関する事項については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は平成22年3月期第3四半期より、四半期連結財務諸表を作成したため、平成23年3月期第3四半期連結会計期間における対前年同四半期増減率は記載していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動停滞から一部持ち直し傾向はあるものの、欧州金融危機や歴史的な円高・株安の進行などの影響により国内景気の先行きに対する不透明感は払拭できない状況が続いております。

当業界におきましても、個人所得の低迷や雇用環境への不安による節約志向が継続しており外食を手控えるなどの生活防衛意識は強く、また、食への安心・安全に関する問題が発生するなど、極めて厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に喜んでいただき、選んでいただく店舗作り」を目指し、「食肉の専門集団」である強みを活かした食肉の知識と技術を駆使し、お客様にとって価値感・満足感のある商品を提供するなど他社との差別化を図り、既存店の立て直しを行ってまいりました。

当第3四半期連結会計期間末の店舗数につきましては、「あみやき亭」2店舗（北方店、大垣南店）、焼肉「スエヒロ館」2店舗（武蔵村山店、梅島店）、「美濃路」5店舗（砂田橋店、津島店、豊川店、大垣店、岩塚店）を新規出店し、184店舗となりました。

売上高は、16,127百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益992百万円（前年同期比42.0%減）、経常利益1,076百万円（前年同期比38.3%減）、当期純利益464百万円（前年同期比52.7%減）となりました。

また、株式会社あみやき亭単体の当第3四半期累計期間の業績は、売上高14,102百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益1,179百万円（前年同期比30.9%減）、経常利益1,250百万円（前年同期比29.4%減）、当期純利益668百万円（前年同期比29.5%減）と減収減益となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は4店舗新規出店した結果、117店舗となりました。内訳は、あみやき亭99店舗、かるび家5店舗、スエヒロ館13店舗であります。

焼肉事業におきましては、当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」の提供に努め、既存店立て直しを行ってまいりました。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する「スエヒロ館」につきましては、「かるび家」からの業態変更と新規出店を行っており、「食肉の専門集団」である強みを活かした商品の提供を行ってまいりました。

以上の結果、焼肉事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,424百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は5店舗新規出店した結果、58店舗です。焼鳥事業はすべて「元祖やきとり家美濃路」で展開しております。

焼鳥事業におきまして、引続き焼き師認定制度を活用した炭火で1本1本手焼きする「焼き」の技術向上に努めるとともに、「美味しくて、安い」焼鳥や釜めしの提供に努めました。

また、店舗運営向上策といたしまして、店長育成プログラムに基づいた接客・サービスのレベル向上に向けた社員教育の取組みを行ってまいりました。

以上の結果、焼鳥事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,035百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、9店舗であります。

内訳は、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する、レストランの「スエヒロ館」6店舗、居酒屋「楽市」3店舗であります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした低価格の「100%国産ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

また、居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は652百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

なお、各事業部への売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、14,083百万円となり、前連結会計年度末と比較し447百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少によるものです。

負債総額は2,458百万円となり、前連結会計年度末と比較し、706百万円減少いたしました。主な要因は未払法人税等の減少によるものであります。

純資産総額は、11,624百万円となり、前連結会計年度末と比較し259百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月3日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,124	5,061
預け金	61	176
売掛金	2	2
商品及び製品	37	45
原材料及び貯蔵品	123	177
繰延税金資産	114	32
その他	220	228
流動資産合計	6,683	5,726
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,540	4,933
構築物（純額）	366	413
機械及び装置（純額）	178	211
車両運搬具（純額）	4	4
工具、器具及び備品（純額）	198	210
土地	489	516
建設仮勘定	72	25
有形固定資産合計	5,851	6,314
無形固定資産		
ソフトウェア	11	6
その他	45	50
無形固定資産合計	57	57
投資その他の資産		
投資有価証券	9	9
長期貸付金	263	254
繰延税金資産	205	211
差入保証金	999	1,017
その他	460	491
投資その他の資産合計	1,938	1,985
固定資産合計	7,847	8,356
資産合計	14,530	14,083

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	818	811
未払金及び未払費用	995	998
未払法人税等	590	13
引当金	158	93
その他	282	197
流動負債合計	2,846	2,114
固定負債		
負ののれん	0	0
繰延税金負債	17	19
資産除去債務	224	243
その他	76	80
固定負債合計	318	343
負債合計	3,165	2,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	6,467	6,726
株主資本合計	11,368	11,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	△2	△2
純資産合計	11,365	11,624
負債純資産合計	14,530	14,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	16,777	16,127
売上原価	6,143	6,161
売上総利益	10,634	9,965
販売費及び一般管理費	8,921	8,972
営業利益	1,712	992
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	0	0
協賛金収入	10	49
その他	10	22
営業外収益合計	34	83
営業外費用		
その他	2	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	1,744	1,076
特別利益		
受取保険金	4	13
店舗閉鎖損失引当金戻入額	8	—
特別利益合計	12	13
特別損失		
固定資産除却損	50	49
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	89	—
その他	4	0
特別損失合計	144	49
税金等調整前四半期純利益	1,612	1,039
法人税、住民税及び事業税	712	499
法人税等調整額	39	76
法人税等還付税額	△120	—
法人税等合計	632	575
少数株主損益調整前四半期純利益	980	464
四半期純利益	980	464

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	980	464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
その他の包括利益合計	△1	0
四半期包括利益	979	464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	979	464

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、個別情報、補足情報等は第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため開示を省略しております。